



海のPRコンテスト うみぽす2023 報告書

一般社団法人海洋連盟
株式会社舵社
日本財団

問い合わせ先：うみぽす甲子園事務局／うみぽす事務局

〒104-0045

東京都中央区築地4-10-6 三輝ビル403号 (一社) 海洋連盟内

TEL：03-6281-5033 FAX：03-6281-5030

問い合わせメールアドレス：umipos@ocean-alliance.org





うみぼす甲子園2023 概要①

『2人め』を生み出せる『1人め』になろう、をスローガンにした高校生のためのコンテスト「うみぼす甲子園」を2023年も開催。
全国から29校／212チームのご応募をいただきました。

名称	ポスターと活動とプレゼンで競う高校生のためのコンテスト「うみぼす甲子園」
募集テーマ	海に関する課題であればすべてOK
応募期間	2023年4月17日（月）～6月18日（日）
ファイナリスト発表	2023年6月30日（木） ※決勝大会進出14チームを選出
活動期間	2023年7月1日（金）～10月31日（火）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターのブラッシュアップと印刷 ・ポスター掲出 ・結節点活動（海と人、人と人をつなぐ具体的な取り組み） ・活動報告（うみぼす甲子園公式ブログでの情報発信）
交流会	2023年11月4日（土）／日本科学未来館 木星ルーム（東京都江東区）
決勝プレゼン大会	2023年11月5日（日）／日本科学未来館 未来館ホール（東京都江東区）
審査員 （敬称略）	石原 良純（俳優／気象予報士） Chocomoo（イラストレーター） 辻田 寛明（ワオフル株式会社 代表取締役社長） 清野 聡子（九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 生態工学研究室 准教授） 中嶋 竜生（日本財団 海洋事業部 部長）
優勝特典	10万円の活動資金の追加提供



うみぼす甲子園2023 概要②



ファイナリスト14チームには活動資金として全チームに10万円を進呈します

ポスターを完成させて貼り出そう！



周りの人々を巻きこむ活動をはじめよう！



公式ブログほかで、活動を広報（拡散）

（必要に応じて、フライヤーや動画等を作ろう！）



プレゼンしよう

開催概要を確認する

みなさんが考える海の課題をポスターにしてください。
そのポスターをプレゼンテーションしてもらうコンテストです。

優勝の特典は？

10万円の追加活動資金
および活動応援サポート



ファイナリスト賞の活動資金10万円に加え、さらに10万円の追加活動資金および活動応援サポートを提供します。

※学校公認での参加の場合、全額学校へ贈呈する場合があります

うみぼす甲子園の応募要項を見る





年間スケジュール

2023年4月	17日	募集告知開始 ・うみぼす甲子園公式サイト (https://umipos.com/koshien/)、Twitter、Instagram、Facebook ・パブリシティ掲載（海と日本PROJECT in ○○と連携するテレビ局、雑誌、Webサイト） ・FAX発信（全国の高等学校 約190校へ案内）
5月	10日	予選応募開始
6月	18日	予選応募締め切り
6月	30日	ファイナリスト14チーム発表 https://www.youtube.com/watch?v=2PVaEO78QQE
7月	1日	ファイナリスト活動期間 ・ポスターのブラッシュアップと印刷 ・ポスター掲出 ・結节点活動 ・活動報告（うみぼす甲子園公式ブログでの週1回以上の情報発信） ※上記の活動と合わせ、各チーム1回以上のワークショップを実施。 ポスターのブラッシュアップ、活動についてのアドバイス等を行う。
10月	31日	活動期間終了
11月	4日	決勝プレゼン大会リハーサル・交流会（日本科学未来館）
11月	5日	決勝プレゼン大会 → 結果発表・表彰式（日本科学未来館） ※YouTubeにてLIVE配信 https://www.youtube.com/watch?v=-Cz5zzuXul0
11月	6日	配信終了後、公式サイト上にて優勝を含め特別賞受賞全チームを発表 https://umipos.com/koshien/result.html
2月	21日	審査員の辻田寛明さんによる特別オンラインセミナー 「高校生から始められるソーシャルアクション！」 ウェビナーでの一般公開 https://www.youtube.com/watch?v=kG1JnZoeo6E
3月	29日	「うみぼす甲子園外伝」をうみぼす甲子園公式サイト上で公開 https://umipos.com/koshien/gaiden.html
4月	14日	「うみぼす甲子園、その後」をうみぼす甲子園公式サイト上で公開 https://umipos.com/koshien/afterstory.html

公式ホームページ umipos.com/koshien/



うみぼす甲子園に関わるすべての情報をご覧いただけるサイトを通年で運用。応募概要や大会の流れ、決勝プレゼン大会の結果や各チームの活動を今回もこのサイトを通して発信しました。



うみぼす甲子園2023 結果発表

[結果発表を見る](#) [決勝大会を見る](#)

ポスター・プレゼン動画

社会の課題解決には、最初に勇気を持って行動を起こす「1人め」の
しかし！人のチカラには限界があります。その活動を広げ・続けるには「2人め」に続く
うみぼす甲子園は、海の豊かさを未来につなげるために、課題に立ち向かう「1人
そして勇気の人々を巻き込んで「2人め」を生み出していくような発想や活動
「自身が学び、行動すること」に加え、「発信力、訴求力、伝達力」を磨く場

グランプリ

広島県 波大福山地引網漁船 (サイエンス・オブ・エンバリア)



ポスター作品

準グランプリ

京都府 うれもん (立命館高等学校)



ポスター作品

うみぼす甲子園 昨年グランプリ [UMI Plus] からのメッ

今年参加される皆さんへ、昨年優勝者からのメッセージです。

うみぼす甲子園 昨年グランプリ
鹿児島県 鳳凰高等学校 UMI plus
森田さんからのメッセージ

うみぼす甲子園 活動と発信



予選を通過した14チームは、4ヶ月の活動期間中に課題解決のためのさまざまな取り組みを行いました。
 また、2023年はその取り組みを公式ブログで週に1回以上発信。オーディエンスを巻き込むだけでなく、チーム同士の交流・情報交換にも繋がりました。



公式ブログ画面



うみぼす甲子園 決勝プレゼン大会・表彰式



決勝大会は14チーム55名が参加し、審査員や招待企業、一般観覧者に向けてプレゼンを行いました。

また、地元で応援している方々のために、今年もYouTubeライブで同時配信しました。



うみぼす甲子園2023 決勝プレゼン大会アーカイブ！ チーム別に見られます！

うみぼす甲子園 決勝プレゼン大会 結果①



- 優勝：近代福山地引網大隊《サイエンス・オブ・バンパイア》
(近畿大学附属広島高等学校 福山校／広島県)



ポスター作品



プレゼン動画

- 準優勝：うおゑん
(立命館高等学校／京都府)



ポスター作品



プレゼン動画



うみぼす甲子園 決勝プレゼン大会 結果②



- 石原良純海藻で賞：小樽水産高校 栽培漁業科 海洋環境版
(北海道小樽水産高等学校／北海道)



ポスター作品



プレゼン動画

- Chocomooクリエイティブ賞：多度津高校☆島元気隊
(香川県立多度津高等学校／香川県)



ポスター作品



プレゼン動画



うみぼす甲子園 決勝プレゼン大会 結果③



- 辻田寛明ソーシャルアクション賞：青谷高校青谷ごみ当番
(鳥取県立青谷高等学校／鳥取県)



ポスター作品



プレゼン動画

- 清野聡子つながりづくり賞：くめじまーんちゅ♥
(沖縄県立久米島高等学校／沖縄県)



ポスター作品



プレゼン動画



うみぼす甲子園 決勝プレゼン大会 結果④



- 日本財団賞：浜松学芸高校 社会科学部 地域調査班 可視化プロジェクト
(浜松学芸高等学校／静岡県)



ポスター作品



プレゼン動画

■ その他ファイナリストチーム

YIS Corals	神奈川県立横浜国際高等学校（神奈川県）
Let's chat!	東海大附属静岡翔洋高等学校（静岡県）
Suito Action Project	大阪府立水都国際高等学校（大阪府）
海っ娘（うみっこ）	岡山県立笠岡商業高等学校（岡山県）
大島商船高専PWCLレスキュー隊	大島商船高等専門学校（山口県）
チーム海ラブ	香川県立高松商業高等学校（香川県）
鳳凰高校サイエンスクラブ 深海魚水深委員	鳳凰高等学校（鹿児島県）



サイドストーリー うみぼす甲子園外伝

決勝大会が終了した後も、ファイナリスト14校はそれぞれの課題に向き合い活動を継続しています。

その取り組み、さまざまな出来事をサイドストーリーとしてまとめ「14のさざ波 ～海と高校生が紡ぐ未来への物語～」として公式サイトで公開しました。

サイドストーリー うみぼす甲子園外伝とは

高校生14チームが、海の持つ様々な課題に向き合うとき、それぞれのチームに生まれた色とりどりのサイドストーリー。

この外伝では、高校生が海の課題に取り組む際に訪れる様々な出来事が映像と14話の短編小説「14のさざ波 ～海と高校生が紡ぐ未来への物語～」として描かれます。

14のさざ波 ～海と高校生が紡ぐ未来への物語～





アフターストーリー うみぼす甲子園、その後

ファイナリスト14校のうち4チームの決勝大会後の活動を「うみぼす甲子園、その後」としてドキュメンタリーにまとめました。

「うみぼす甲子園外伝」と合わせて、公式サイト上で公開しました。

アフターストーリー うみぼす甲子園、その後

うみぼす甲子園は、決勝が終わったらそれで終了という大会ではありません。

海の課題と向き合い活動と発表を行った全国のファイナリストたちの「志」は
決勝大会の後も生き続けています。

自分たちの後続く人々を生み出す活動を行ったり、地元とより密接に結びついたり、
あるいは自らの進路を見つめ直したり...

海の課題を「自分ごと」とした彼ら・彼女らだからこそ持続していく思いをご紹介するために、
いくつかのチームの「その後」をドキュメンタリーにまとめました。

アフターストーリー うみぼす甲子園、その後





うみぼす海のPRコンテスト2023 概要①

うみぼす海のPRコンテストは、海と日本PROJECTの一環で、日本財団、舵社、海洋連盟の共同事業として実施しています。

実施名称	海と日本PROJECT「うみぼす」海のPRコンテスト2023
テーマ	日本の海を「この海に来て」「海を守りたい」「おいしい海」のうちから1つ選んで表現してください
主催	一般社団法人海洋連盟
共催	株式会社舵社、日本財団
後援	国土交通省、文部科学省、環境省、観光庁
協賛	日本郵便株式会社、株式会社ビックカメラ
協力	海と日本PROJECT in ガッチャンコ北海道／青森県／岩手／みやぎ／秋田県／山形／ふくしま／栃木県／埼玉県／千葉県／TOKYO／かながわ／新潟／富山／いしかわ／ふくい／やまなし／長野／岐阜県／静岡県／愛知県／三重県／滋賀県／京都／大阪／ひょうご／和歌山県／とっとり／しまね／岡山／広島／やまぐち／とくしま／かがわ／えひめ／高知県／ふくおか／佐賀／ながさき／くまもと／みやざき／鹿児島／沖縄県
募集対象	子ども／大人、個人／法人・団体、プロ／アマ、国籍を問わず
題材・対象	日本全国の海や海の周辺地域に関わるもの全て（景色・人・食など）
募集期間	2023年5月15日(月)～10月1日(日)
審査会	2023年10月26日(木)
結果発表	2023年11月24日(土)
審査員 (敬称略)	石原 良純（俳優／気象予報士） 別所 哲也（俳優／「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」代表） 矢ヶ崎 紀子（東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科 教授） 古谷 千佳子（海人写真家） 田久保 雅己（「うみぼす」実行委員会委員長／株式会社舵社 編集長） 玉木 明（日本郵便株式会社 切手デザイナー） 株式会社ビックカメラ



うみぼす海のPRコンテスト2023 概要②

ポスター部門：一般の部	
グランプリ	賞金30万円
準グランプリ	賞金5万円
ポスター部門：こどもの部	
グランプリ	図書カード3万円
準グランプリ	図書カード1万円
ポスター部門：インスタの部	
グランプリ	賞金10万円+副賞カメラ
準グランプリ	賞金5万円
ポストカード部門：一般の部	
グランプリ	賞金30万円
準グランプリ	賞金5万円
ポストカード部門：こどもの部	
グランプリ	図書カード3万円
準グランプリ	図書カード1万円
特別賞	
海と日本PROJECTエリア賞（44都道府県エリア会が地元作品から選出）	
海と日本PROJECT賞（エリア賞の中から選出）	賞金5万円
SDGs海の豊かさを守ろう賞（全部門の全作品から選出）	賞金5万円
うみめし賞（全部門の全作品から選出）	賞金5万円
日本郵便賞（ポストカード部門の全作品から選出）	副賞
ピックカメラ賞（全部門の全作品から選出）	副賞
審査員特別賞（全部門の全作品から選出）	

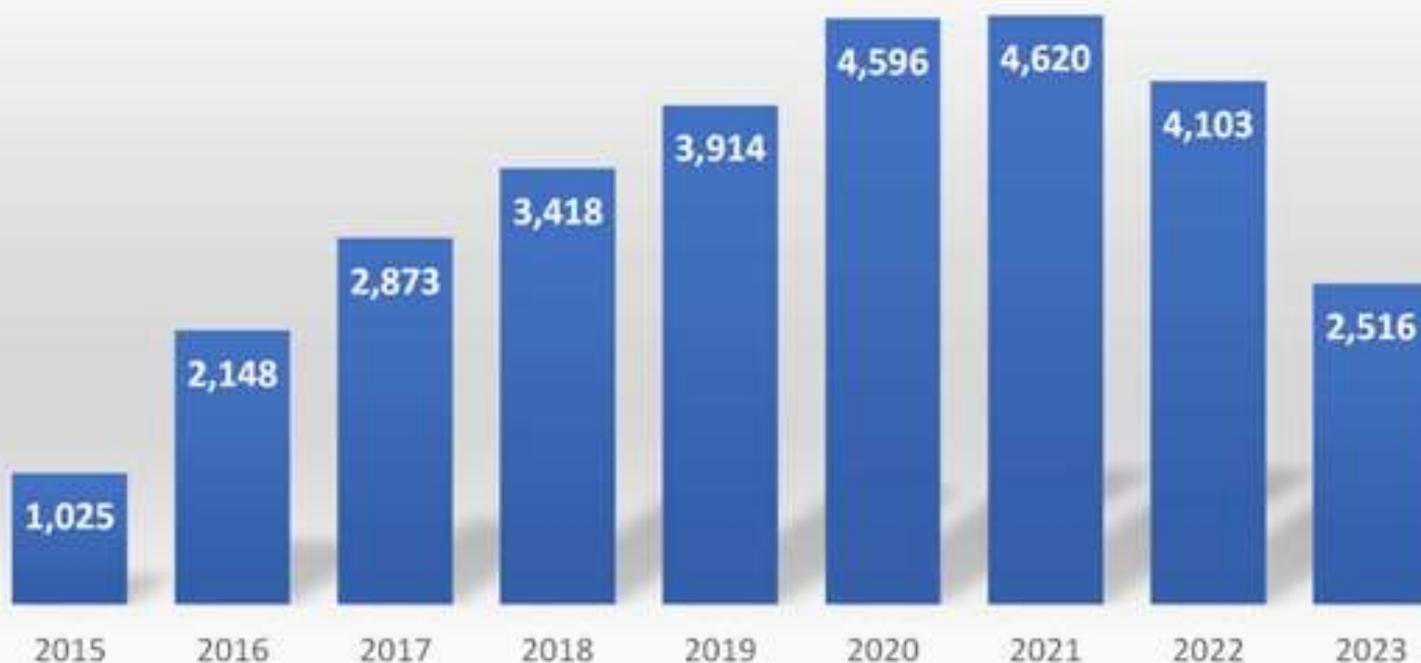
応募数集計結果



ポスター	一般の部	825
	こどもの部	379
	インスタの部	500
ポストカード	一般の部	382
	こどもの部	430
計		2,516

 **Total: 29,213**

うみぼす応募数推移





年間スケジュール

2023年5月	15日	募集開始／募集告知 <ul style="list-style-type: none"> ・うみぼす公式サイト (http://umipos.com/)、Twitter、Instagram、Facebook ・パブリシティ掲載（海と日本PROJECT in ○○と連携するテレビ局、雑誌、Webサイト） ・ダイレクトメール発送（全国の離島のある都道府県市区町村観光課、広域連携提携先、協賛依頼先、全国のエリア会ほか）
5月	22日	ワークショップ開始
8月	30日	ワークショップ終了 （オンライン形式も含め、ここまでで全国で31回開催）
10月	1日	募集締め切り
10月	8日	NORAヘアサロンでの特別ワークショップをもって全ワークショップが終了 ※2024年度の応募扱い
10月	16日	海と日本PROJECT in ○○選出による各エリア入賞作41作品決定 ※山形県、栃木県の応募作品がなかったため、2エリアは対象外。
10月	26日	審査会（日本財団ビル2F大会議室）
11月	17日	海野常務による海と日本PROJECT賞の選定をもって、各賞が確定
11月	24日	各部門グランプリ、準グランプリ含め入賞160作品発表 （YouTubeにてLIVE配信） https://www.youtube.com/watch?v=NBKcbUheQWE
		配信終了後、公式サイト上にて各賞グランプリ含め入賞全160作品を発表 https://umipos.com/award-winning_work_2023/

審査会

2023年10月26日(木)、日本財団ビルにて審査会を開催。
審査員の石原良純さん、古谷千佳子さん、田久保雅己さん、玉木明さん（日本郵便）、
による最終審査が行われました。

（別所哲也さん、矢ヶ崎紀子さん、ビックカメラさんは別会場にて審査）

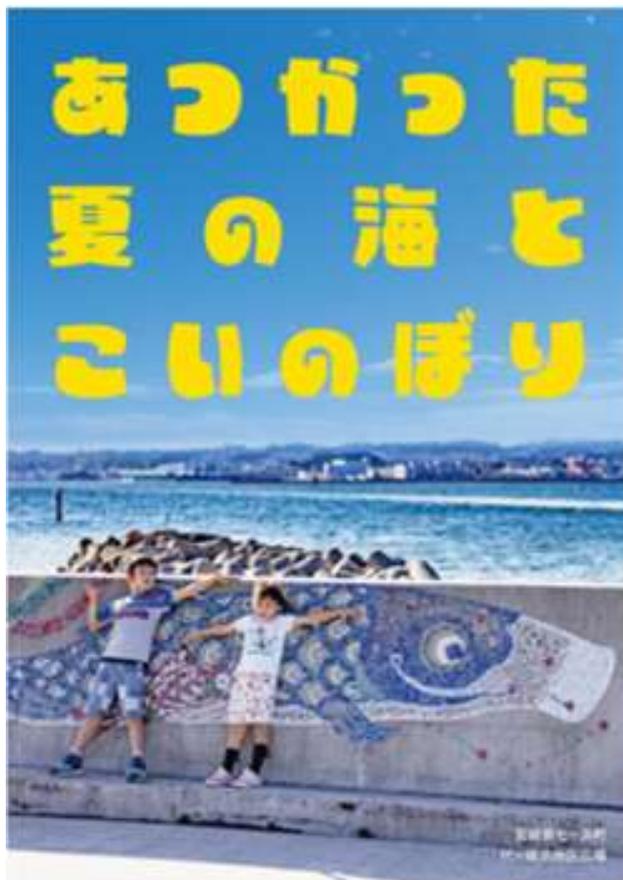
海と日本PROJECTエリア賞含め1次審査で選出された入賞160作品の中から、審査員
の皆様の厳正な審査によりグランプリ他各賞が決定しました。



ポスター部門 一般の部



グランプリ



作者：高橋 裕さん
場所：宮城県
（宮城郡 七ヶ浜町
代ヶ崎浜地区広場）

準グランプリ



作者：横尾 広貴さん
場所：山口県
（美祢市 白水の池）

ポスター部門 こどもの部



グランプリ



作者：小川 智博さん
場所：青森県（陸奥湾）

準グランプリ



作者：町屋 寧音さん
場所：神奈川県
（三浦郡 葉山町 大浜海岸）

ポスター部門 インスタの部



グランプリ



作者：清水 清夏さん
場所：東京都（神津島）

準グランプリ



作者：大根 英樹さん
場所：沖縄県
（国頭郡 恩納村）

ポストカード部門 一般の部



グランプリ



作者：たくさん
場所：秋田県
（にかほ市 象潟町
象潟海水浴場）

準グランプリ



作者：宇都 浩一郎さん
場所：沖縄県
（石垣市 白保海岸）

ポストカード部門 こどもの部



グランプリ



作者：江川 あさひさん
場所：山口県
(大島郡 周防大島町)

準グランプリ



作者：茅原 愛さん
場所：長崎県
(佐世保市)

海と日本PROJECTエリア賞／審査員特別賞



海と日本PROJECT賞（最優秀エリア賞）



作者：寺本 彩さん
場所：広島県（廿日市市 宮島）

石原良純 賞



ポスター部門／一般の部より選出
作者：@wata023さん
場所：千葉県（九十九里浜）

審査員特別賞

別所哲也 賞



ポスター部門／一般の部より選出
作者：藤島 茉也さん
場所：長野県（松本市 上高地）

矢ヶ崎紀子 賞



ポストカード部門／インスタの部より選出
作者：中谷 香代子さん
場所：愛知県
（知多郡 南知多町 師岬港）

審査員特別賞



古谷千佳子 賞



ポスター部門／こどもの部より選出
作者：井上 暁登さん
場所：福岡県（福岡市 うしろ浜）

田久保雅己 賞



ポスター部門／一般の部より選出
作者：平野 昌子さん
場所：神奈川県
（三浦市 三浦海岸）

審査員特別賞

日本郵便賞



ポストカード部門／こどもの部より選出
作者：工土 涼平さん
場所：熊本県（宇土市）

ビックカメラ賞



ポスター部門／一般の部より選出
作者：今井 寛治さん
場所：和歌山県
（東牟婁郡 串本町 串本海中公園）

サステイナブル奨励賞



SDGs14海の豊かさを守ろう賞



ポスター部門／一般の部より選出
作者：安久 京香さん
場所：茨城県
(鉾田市 京地釜海岸)

うみめし賞



ポスター部門／一般の部より選出
作者：牛嶋 瑞樹さん
場所：青森県
(下北郡 大間町 大間崎)

結果発表



審査結果は、今年もYouTubeでライブ配信をする形で発表。
その後うみぼすホームページで、入賞全160作品の画像掲載とあわせて、発表の動画をアーカイブ配信しました。



メディア露出①

日本海ケーブル放送（11月15日）／青谷高校ごみ当番



海と日本PROJECT in 沖縄県（琉球放送）／うみぼす甲子園決勝プレゼン大会



海と日本PROJECT in かがわ（西日本放送）／高松商業高校、多度津高校 応援動画



メディア露出②

秋田魁新報（12月21日版）／齋藤 勇夫さん うみぼす入賞

地元の海をポスターに

○…地元の海の魅力をPRするポスターのコンテスト「うみぼす」（一般社団法人海洋連盟主催）で、秋田市の映像ディレクター齋藤勇夫さん（66）の作品が4年連続で入賞した。写真。「10年連続を目指したい」と話した。（羽生田 一海）

「ハキのつう」



している。
齋藤さんは2020年から、同市新屋町の新屋海浜公園で見つけた流木を撮影し、ポスターにして応募している。今回は流木を来年のえとにちなみ竜に見立てた。浜で休んでいた竜が飛び立つ様子をイメージしたという。

10年ほど前に映像作品の撮影で新屋海浜公園を訪れたのがきっかけで、以来、天気の良いときはカメラを持って散歩に出かけている。「公園付近は開発が進んでおらず、自然が残っている。もっと多くの人が訪れ、魅力を体験してほしい」と話した。（羽生田 一海）

読売新聞 備後版（11月11日版）／近大福山高校 うみぼす甲子園優勝

近大福山高科学部員がV
うみぼす甲子園「ギョギョれ！若者！」



地引き網体験のポスターを手に、優勝を喜ぶ科学部の部員ら（福山市で）

高校生の海への関心について学び、ポスター製作や企画などで競う「うみぼす甲子園2023」で、近畿大学付属福島福山高校の科学部5人が全国優勝を果たした。「ギョギョれ！若者！」をキャッチフレーズに地引き網体験を実施し、漁業や魚の魅力を広めたことが高く評価された。

一般社団法人海洋連盟（東京）主催。今年が2回目の開催で、20都道府県29校212チームが参加した。同校科学部からは生物好きの5人が出場。「日本の漁獲量や漁業従事者が激減している。改善のためには若い世代に漁業に親しんでもらうことが重要」と、小中学生の地引き網体験を企画した。ポスターや企画書を作って応募し、決勝甲子園に選ばれた。

決勝チームに提供される活動資金10万円を基にポスター1300枚、チラシ2200枚を作り、福山市などの小中学校134校に配布。10月に岡山県笠岡市で地引き網体験を実施した。子供ら4人が参加し、当初は怖がっていた子も、漁師の助言で網を引き、笑顔で魚に触っていたという。

11月5日に東京で行われた決勝大会では、5人が前らかつ元気づく、企画や活動について説明。審査員から「パワーがあり、感動した」と評価され、グランプリに輝いた。部長の浦原桃也さん（17）は優勝を喜び、「一部の伝統として地引き網体験を続けていきたい。瀬戸内海沿いの他の学校とも連携し、活動を広げていければ」と話した。



日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

海と日本 PROJECT



一般社団法人海洋連盟
株式会社舵社
日本財団

問い合わせ先：うみぽす甲子園事務局／うみぽす事務局

〒104-0045

東京都中央区築地4-10-6 三輝ビル403 (一社) 海洋連盟内

TEL : 03-6281-5033 FAX : 03-6281-5030

問い合わせメールアドレス： umipos@ocean-alliance.org



海洋連盟
Ocean Alliance